

女性の身体と社会の関係性 ―身体加工の歴史を踏まえて―

The consideration of social relations on the female body.

- based on the history of body modification.-

1K09B089-8

指導教員 主査 石井昌幸先生

逆井 美樹

副査 杉山千鶴先生

【第1章 はじめに】

現代の人間は没個性を嫌う。特に女性は髪形や服装を変え、他者との差別化をはかる傾向にある。個性をアイデンティティと考え、個性を持つことが自分を表現する一番の方法であるととらえている。個性を表現する目的のため、女性は長い間、身体を加工してきた。それは痛みを含有するものが多く、各国で近代化が進む流れの中で、「未開で野蛮なもの」と見なされていった。しかし、現代でも女性は痛みを伴う身体加工を行っている。

痛みを伴う身体加工は、社会通念としてネガティブなイメージを持たれるものが多い。倫理的観点から禁止令が出されたものも少なくない。しかし、このような背景を持っていても、数十年前まで当然のように行われていた身体加工や現代でも女性が好んで行っている身体加工が存在する。

なぜ女性は身体加工を行うのか。また歴史的に長い間、身体加工が続けられていく中でどのような変化が生まれたのか。ひいては女性の身体と社会との関係性について言及し、女性の身体が持つ意味について考察していく。

【第2章 身体加工の歴史】

身体加工を慣習、服装、宗教、芸術の4つの分野に大別し、歴史を記述した。慣習の分野では、中国で行われていた纏足を、服装の分野では、西洋で行われていたコルセットを、宗教の分野では、聖書を教典とした信仰がある地域で行われていた割礼を、芸術の分野では、現代にも文化として残っている入れ墨を取り上げている。成立から衰退までをとらえることで、現代ではあまり行われなくなった身体加工に伴う痛みが、受け入れられなかったことを示している。

【第3章 身体の零度】

三浦雅士氏著の『身体の零度』を中心に、身体が持つ意味や身体加工が抑圧されてきた歴史を考察した。特に「近代化された身体」をキーワードに、身体加工を行うことによって身体が獲得してきたもの、身体加工を排したことで成立した身体、そして日本における管理された身体について言及した。

現代では衰退した身体加工に顕著に表れている特徴は、身体加工を行うことで女性は、ステータスを得ていたということである。それは身体加工を行うことが、当時の社会の中で女性の価値を上げる手段であった事実がある。同時に身体加工は社会の中で受け入れられていたこと以上に、個人の自由によって行われていたのであった。

ここで明らかになったことは、上記で述べたような自由が「近代化」が推し進められる中で、抑圧されたということである。身体を近代化するためには、身体を管理する必要がある。「個性」を排除する必要があった。そのため理想である「近代的な身体」は「不自然な身体」となったのである。

【第4章 現代の身体加工】

現代の身体加工について、主に女性が行う入れ墨と美容整形について考察している。入れ墨という文化は近代化を経て、現代になるにつれて成立当初とは違った意味や目的を表わす存在になった。また同様に第2節では美容整形についても、意味や目的に加え、美容整形という身体加工が持つネガティブなイメージを作り上げるにいたった問題点を取り上げている。そして第3節では、入れ墨と美容整形が現代社会において、現代女性において、どのような距離感を持ち、存在しているかを考察した。

現代女性の身体加工に対するイメージが変わったことで、相手への愛情表現や「粋」を表現するための手段であったものが、自身の理想を表現する手段に変化し、覚悟や信念というものが薄れてきたことを示している。また、近代化が進む中で排された身体加工の自由というものが、身体加工が女性にとって身近になることで取り戻されたといえる。

【第5章 おわりに】

女性の身体は、男性に見られる対象である。この構図は纏足やコルセットが行われていた時代から確立されたものであり、現代にも通じている。身体は自己を表現する道具であり、特に女性にとっては自身の理想を社会に発露させる媒体である。理想を表現する中で男性からの評価をあげ、自身の価値をあげるため女性は身体を加工すると考える。

また身体には多様な現れ方が存在し、その全てを一致させることは不可能である。しかし身体加工がその一致を可能にしている。女性の身体は、理想を表現するキャンバスであり、社会からの評価を映し出す鏡であるといえる。

身体加工に通じるネガティブなイメージは倫理的観点から変わることはないだろう。しかし女性の身体が見られる対象である限り、身体加工がなくなることはなく、さまざまな形で受け継がれていくと考える。